

## 会議録

会議の名称	令和7年度 川越市児童館運営委員会
開催日時	令和7年11月26日（水曜日） 午前10時 開会 午前12時00分 閉会
開催場所	児童センターこどもの城 視聴覚室
議長（会長） 氏名	議長（会長） 武藤寛史
出席者 (委員)氏名 (人数)	赤間ゆりか、萩原和子、服部孝、水谷薰、鈴木敏子（5人）
欠席者 (委員)氏名 (人数)	細田旅生、高栖敦子、鳥居麻理子、岩崎佳澄（4人）
事務局職員 職 氏 名	こども未来部長 佐藤 利貞 こども育成課長 太田 康之 児童センターこどもの城館長 兼川越駅東口児童館長 野村 博之 児童センターこどもの城主査 石田 和宣 高階児童館長 藤井 香代子 ※ほか児童館改修整備基本構想策定支援事業者 2名
会議次第	1 開会 2 事務局あいさつ 3 議事 （1）児童館改修整備基本構想について（諮問） 4 その他 5 閉会
配布資料	1 川越市児童館運営委員会次第 2 川越市児童館運営委員会委員名簿 3 川越市児童館改修整備基本構想について（諮問） 4 川越市児童館改修整備基本構想案（暫定） 資料1 5 アンケート調査結果 資料2 6 プラネタリウム空間の利活用方法検討 資料3

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>『会議の成立について』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の成立について報告（委員 6 名出席）</li> <li>・傍聴希望者なし</li> </ul>
事務局	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 こども未来部こども育成課長あいさつ</li> <li>3 議事</li> </ol> <p>（1）川越市児童館改修整備基本構想について（諮問） こども未来部長による諮問書の代読</p>
議長	市長からの諮問を受けて、本委員会で活発に意見を出していく。
事務局	<p>○児童館改修整備基本構想案（暫定）の説明</p> <p>資料 2 に基づき構想案を説明。</p> <p>細かい体裁等は今後修正を実施していく。今回の委員会では、基本構想への理解を深めるとともに、項目・内容の修正・追加について確認いただきたい。</p> <p>なお、今回の委員会では構想案の前半部分（第 3 章 1 まで）を諮問することとし、それ以降の後半部分については、次回委員会において審議対象としたい。</p> <p>（質疑）</p>
委員	<p>こどもの城は、他児童館と比べて相対的に周囲に学校が少ないので、今後市内全域から利用者を増やすような運営方法・設備を取り入れたいという認識で合っているか。</p> <p>また、特定の年代にフォーカスして利用者増加を目指すのではなく、全年代での利用者を増やしていくという認識で良いか。</p>
事務局	<p>施設規模に見合った利用者数を目指すため、市内全域から利用者が集まるような児童館改修を目指す方針である。</p> <p>現状の児童館の主な利用者層は、乳幼児から小学生までがほとんどである。</p> <p>一方、児童館は中高生含めた 18 歳すべてのこどもが利用対象なので、現状利用が少ない中高生に配慮した機能・取組を増</p>

	やしつつ、全年齢での利用者増加を目指していきたい。
委員	<p>配慮が必要な子どもの支援・相談機能を強化したり、子ども食堂等、他の児童支援の取組と連携したりといった活動を、児童館でしていくべきではないか。</p> <p>中高生の居場所として、学習スペースや音楽活動ができる空間があると良いのではないか。</p> <p>目次と基本構想内で項目名が一致していない箇所がある。</p> <p>また、基本構想内は「子ども」表記で統一するべきではないか。</p>
事務局	<p>配慮が必要な子どもに対しての支援・相談機能については、運営手法の項目で整理していきたい。</p> <p>基本構想内は「子ども」表記で統一する。</p>
委員	子どもの城のリニューアル工事が完了するのはいつごろの予定か。また、工事費用について、今後の物価上昇は考慮しているのか。
事務局	令和9年度に着工、令和10年度末にリニューアル工事が完了する予定である。施設の長寿命化工事と合わせて約2年間の工期を見込んでいる。今後の事業費については、庁内で検討していく。
委員	配慮が必要な子どもの居場所として、設備面だけでなく、相談できるような職員の充実といった運営面の改善も必要ではないか。
事務局	児童館運営の理念として基本構想内で触れていきたい。
委員	<p>児童館の設備を充実させること以外に、継続的に人が交流できる・集まるような、運営上の仕掛け・取組があると良いのではないか。</p> <p>現状地理的に離れている学校の生徒は来館しづらい環境だが、学校や部活の発表ができる場所・イベントがあると、様々な地域からの子どもの来館にも繋がるのではないか。</p>
事務局	継続的に人を集めていくための管理・運営手法については、引き続き検討していく。

	児童館に望まれている機能については、運営担当者・利用者・保護者向けに実施したアンケートの結果があるので、そちらで説明する。
事務局	資料1 アンケート調査結果を基に説明。
委員	<p>近隣関連施設の整理について、近隣の定義を徒歩15分圏内とした根拠はあるのか。</p> <p>徒歩15分圏内の学校以外にも、児童館と地域的交流のある学校（例：子どもの城における今成小学校や泉小学校、高階児童館における高階西小学校や高階北小学校、寺尾小学校）も近隣施設に含めるべきではないか。</p> <p>川越駅東口児童館に関しては、近隣の学校以外に、電車を利用して他の地域から来ている子どもの可能性についても考慮に入れるべきではないか。</p> <p>また、子どもの城という施設名が、中高生にとって利用しやすいイメージを与えているのではないか。</p>
事務局	<p>近隣施設の整理については、今後検討を進める。</p> <p>施設名についても、中高生へのPR方法として検討していくたい。</p>
委員	川越駅東口児童館で中高生が勉強できるような場所はあるのか。
事務局	カウンター机で勉強できる場所を設置している。
委員	子どもの城は川越市駅から通える距離なので、子どもの城にも勉強できる場所があると中高生にとって良いのではないか。
委員	<p>黒板アートのような多世代で制作できるような作品スペースがあると、子どもが主体的に遊んだり交流したりすることができて良いのではないか。</p> <p>ロープやハンモックのような、掛かる費用が少なく、子どもがくつろげる設備があると良いのではないか。</p>
委員	黒板やホワイトボード等に絵を描くスペースがあると、様々な児童グループの交流に繋がって良いと思われる。

議長	今回の意見を受けて、内容を精査した上で、事務局にて引き続き基本構想案の検討・作成を進めていただきたい。
事務局	<p>○プラネタリウム空間の利活用方法検討</p> <p>プラネタリウムについて、前回の運営委員会では様々な意見が出たが、今回の委員会で今後の活用案を整理していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前提情報の整理</li> <li>・各検討案の検討事項</li> </ul> <p>資料3 プラネタリウム空間の利活用方法検討を基に説明。</p> <p>改修の方向性は今後市で検討していく。運営委員会では、改修案を1つに決めるのではなく、改修案について様々な意見を頂く場としたい。</p>
委員	<p>(質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来のプラネタリウムでの利用とは異なり、自由にこどもが出入りできるようになるので、監視する職員が必要ではないか。</li> <li>・大型遊具を導入する場合、衛生面の維持が課題ではないか。</li> </ul>
事務局	見守りカメラの設置等、安全面対策については引き続き検討する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算面も考慮すると、プラネタリウム機能を残すことに、必ずしもこだわる必要は無いのではないか。</li> <li>・閉鎖された空間になるので、壁面はそのままでなく、何らかの活用方法を検討できないか。</li> </ul>
事務局	メインの出入口は1箇所、他に非常口が2箇所ある。壁面の活用については、装飾を追加する等、今後検討する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁に絵を描くことができる等、自由に使うことができる空間として活用すると良いのではないか。</li> <li>・市民コンサートの会場として活用したり、映画等の上映ができたりすると良いのではないか。</li> <li>・多目的ホールとして改修を実施し、今後費用面が改善された際には、移動式プラネタリウムを導入できると良いのではないか。</li> <li>・利用年代が限られる大型遊具よりも、乳幼児から高校生まで</li> </ul>

	<p>利用できる多目的ホールの方が児童館の設備として望ましいのではないか。</p> <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラネタリウムについては、継続的なプログラムの更新の必要性も含めて考えると、予算上残すのは難しいのではないか。</li> <li>・大型遊具は子どもに人気であり、利用者アンケートの結果にある通り、無料で遊べるのは大きなメリットになるのではないか。</li> </ul> <p>一方で、親の立場としては子どもがケガをしないか不安に思うため、安全性をどのように確保していくかが課題として考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的ホールに改修した場合は、運営側で活用案を考えいく必要がある。</li> </ul> <p>委員 こどもの城全体の改修予算はどの程度を想定しているか。</p> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の長寿命化工事を除いた、こどもの城リニューアルに掛けられる費用の目標として3億円を想定している。</li> <li>・施設全体のゾーニングとして、既存の遊具室も活用しつつ検討していきたいと考えている。</li> </ul> <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラネタリウム室は天井までどの程度の高さか。</li> <li>・現状のプラネタリウムの防音性能で、ヒーリング音楽等を流すことは可能か。</li> <li>・プラネタリウム機能が残らない場合、プロジェクターで映像を流すことは可能なのか。</li> <li>・クライミング遊具が子どもに人気と聞いたが、今回導入の予定はあるか。</li> </ul> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さは約6mとなっている。ドラムのような重低音でなければ、基本的にプラネタリウム内で音楽を流しておくことは可能である。</li> <li>・プラネタリウムを残さない多目的ホールの場合、壁側にプロジェクターを設置する等、映像の投影方法については検討中である。特に、屋根の半球部分に対する投影方法は検討する必要がある。</li> <li>・クライミング遊具の需要が高いことは認識しているが、導入する場合、安全面の確保が課題である。</li> </ul>
--	--

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までこどもの城にプラネタリウムが設置されていた理念について、基本構想上で整理しておくことは必要ではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>躯体に影響のある工事を実施する場合、天井のアスベストが懸念点とされているが、今回の4検討案は躯体に影響のあるような工事は実施するのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>現段階では躯体に影響が出る工事は実施しない予定のため、問題はない見通しである。</li> <li>天井以外に、壁内部にもアスベストが使用されている可能性はあるため、調査は必須である。</li> <li>アスベスト調査については、改修の費用面に影響が出ないように実施していく予定である。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の意見を整理した上で、事務局にて引き続きプラネタリウム空間の利活用について検討を進めて頂く。</li> <li>プラネタリウム空間の利活用について方向性を整理したものを、事務局の案として今後の委員会で改めて提示頂く。</li> </ul>
	<p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なし。</li> </ul>
	<p>5. 連絡事項</p> <p>今後の児童館運営委員会の開催スケジュールについて確認する。</p>
	<p>6. 閉会</p>